1. **前田 健一 :** 自動健診システムの開発とICカードの利用, *CAMPUS HEALTH,* **42,** *2,* 21-25, 2005年.
2. **武久 美奈子, 友竹 正人, 石川 静江, 早渕 純子, 佐藤 八重子, 石元 康仁, 前田 健一, 湊 義博, 大森 哲郎 :** 女子大学生の月経前緊張症, --- アンケート調査より ---, *CAMPUS HEALTH,* **42,** *2,* 99-104, 2005年.
3. **井﨑 ゆみ子, 友竹 正人, 大森 哲郎 :** 小中学校時に不登校経験があり青年期以降に大うつ病エピソードをきたした3例, *第48回日本児童青年精神医学会,* 2007年10月.
4. **井﨑 ゆみ子, 亀岡 尚美, 友竹 正人, 他 :** 徳島大学病院における児童思春期患者の外来新患調査, *第27回日本精神科診断学会,* 2007年10月.
5. **上岡 義典, 椎野 広久, 井﨑 ゆみ子, 上岡 千世, 友竹 正人, 大森 哲郎 :** K-ABCからみたアスペルガー障害幼児の認知特性, *第27回日本精神科診断学会,* 2007年10月.
6. **的場 みぎわ, 多田 敏子, 岡田 愛, 北村 清一郎, 小山 晋之 :** 大学生のメンタルヘルスの実態(1報)-ソーシャルサポートより, *四国公衆衛生学会雑誌,* **53,** 39-40, 2008年2月.
7. **岡田 愛, 的場 みぎわ, 多田 敏子, 北村 清一郎, 小山 晋之 :** 大学生のメンタルヘルスの実態(2報) 心理的反応の実態より, *四国公衆衛生学会雑誌,* **53,** *1,* 41-42, 2008年2月.
8. **的場 みぎわ, 多田 敏子, 岡田 愛 :** 大学生のメンタルヘルスの実態(1報) ソーシャルサポートより, *四国公衆衛生学会雑誌,* **53,** *1,* 39-40, 2008年2月.
9. **Ken Yamauchi, Hirofumi Aki, Masahito Tomotake, Junichi Iga, Shusuke Numata, Ikuyo Motoki, Yumiko Izaki, Shinya Tayoshi, Sawako Kinouchi, Satsuki Sumitani, Sumiko Tayoshi, Yumiko Takikawa, Yasuhiro Kaneda, Takahide Taniguchi, Yasuhito Ishimoto, Shu-ichi Ueno *and* Tetsuro Ohmori :** Predictors of subjective and objective quality of life in outpatients with schizophrenia., *Psychiatry and Clinical Neurosciences,* **62,** *4,* 404-411, 2008.
10. **Yoshinori Ueoka, Masahito Tomotake, Tsunehiko Tanaka, Yasuhiro Kaneda, Ken Yamauchi, Kyoko Taniguchi, Yumiko Takikawa, Masahito Nakataki, Shusuke Numata, Shinya Tayoshi, Satsuki Sumitani, Yumiko Izaki, Takashi Ohmori, Shu-ichi Ueno *and* Tetsuro Ohmori :** Predictors of objective quality of life in people with schizophrenia, *XIV World Congress of Psychiatry,* Sep. 2008.
11. **Masahito Tomotake, Yoshinori Ueoka, Tsunehiko Tanaka, Yasuhiro Kaneda, Ken Yamauchi, Kyoko Taniguchi, Yumiko Takikawa, Masahito Nakataki, Shusuke Numata, Shinya Tayoshi, Satsuki Sumitani, Yumiko Izaki, Takashi Ohmori, Shu-ichi Ueno *and* Tetsuro Ohmori :** Subjective quality of life and cognitive function in people with schizophrenia, *XIV World Congress of Psychiatry,* Sep. 2008.
12. **Yoshinori Ueoka, Masahito Tomotake, Tsunehiko Tanaka, Yasuhiro Kaneda, Masahito Nakataki, Shusuke Numata, Shinya Tayoshi, Satsuki Sumitani, Yumiko Izaki, Takashi Ohmori, Shu-ichi Ueno *and* Tetsuro Ohmori :** Relationship between cognitive function and clinical factors in people with schizophrenia, *第18回日本臨床精神神経薬理学会・第38回日本神経精神薬理学会合同年会,* Oct. 2008.
13. **Masahito Tomotake, Yoshinori Ueoka, Tsunehiko Tanaka, Yasuhiro Kaneda, Ken Yamauchi, Kyoko Taniguchi, Takikawa Yumiko, Masahito Nakataki, Shusuke Numata, Shinya Tayoshi, Satsuki Sumitani, Yumiko Izaki, Takashi Ohmori, Shu-ichi Ueno *and* Tetsuro Ohmori :** Quality of life and cognitive function in outpatients with schizophrenia, *第18回日本臨床精神神経薬理学会・第38回日本神経精神薬理学会合同年会,* Oct. 2008.
14. **井﨑 ゆみ子 :** GHQを用いたスクリーニングと面接による大学保健管理センターにおける新入生のメンタルヘルス対策, *日本児童青年精神医学会総会抄録集,* 224, 2009年.
15. **大西 徳生, 魚崎 泰弘, 前田 健一, 獅々堀 正幹, 中野 晋, 多田 吉宏, 玉谷 純二, 下村 直行, 三神 厚, 倉科 昌, 中村 真紀, 杉山 茂, 小澤 将人, 山本 裕紹, 黒田 トクエ, 田端 厚之, 佐々木 由香, 島木 美香 :** 安全マニュアル, 工学部, 徳島, 2010年2月.
16. **早渕 純子, 西尾 よしみ, 横山 小百合, 石原 容子, 岡久 玲子, 安部 陽子, 佐藤 八重子, 井﨑 ゆみ子, 前田 健一 :** 徳島大学における特定保健指導の導入について, *CAMPUS HEALTH,* **47,** *2,* 79-84, 2010年.
17. **岡久 玲子, 早渕 純子, 西尾 よしみ, 横山 小百合, 石原 容子, 安部 陽子, 佐藤 八重子, 井﨑 ゆみ子, 前田 健一 :** 特定保健指導を受けた医療系職員における生活習慣の変化, *第53回中国四国合同産業衛生学会抄録集,* 22, 2009年11月.
18. **小原 繁, 高橋 将記, 佐竹 昌之, 前田 健一, 的場 秀樹 :** 中高年男女の10kmジョギングでの疲労感と酸化ストレス, *ランニング学研究,* 2010年3月.
19. **井﨑 ゆみ子, 西尾 よしみ, 早渕 純子, 横山 小百合, 佐藤 八重子, 武久 美奈子, 前田 健一 :** 新入生のメンタルヘルス健診におけるGHQ高得点者の傾向について, *CAMPUS HEALTH,* **47,** *1,* 343-344, 2010年2月.
20. **早渕 純子, 西尾 よしみ, 横山 小百合, 石原 容子, 岡久 玲子, 安部 陽子, 佐藤 八重子, 井﨑 ゆみ子, 前田 健一 :** 徳島大学における特定保健指導の導入について, *CAMPUS HEALTH,* **47,** *1,* 139, 2010年2月.
21. **早渕 純子, 西尾 よしみ, 横山 小百合, 石原 容子, 岡久 玲子, 安部 陽子, 佐藤 八重子, 井﨑 ゆみ子, 前田 健一 :** 徳島大学における特定保健指導の導入について, *CAMPUS HEALTH,* **47,** *1,* 139, 2010年2月.
22. **早渕 純子, 西尾 よしみ, 横山 小百合, 石原 容子, 岡久 玲子, 安部 陽子, 佐藤 八重子, 井﨑 ゆみ子, 前田 健一 :** 徳島大学における特定保健指導の導入について, *CAMPUS HEALTH,* **46,** *3,* 55, 2010年3月.
23. **井﨑 ゆみ子 :** よくわかる精神科治療薬の考え方，使い方 (改訂2版), 株式会社 中外医学社, 2011年3月.
24. **二宮 恒夫, 井﨑 ゆみ子, 中津 忠則 :** 大学生のうつ病認知スケール結果を学校精神保健にどう活かすか, *平成22年度第41回全国学校保健・学校医大会大会誌,* 200-202, 2010年.
25. **Momoyo Azuma, Takada Shinsuke, Sato Seidai, Hisatsugu Goto, Hiroaki Yanagawa, Yasuhiko Nishioka, Kenichi Maeda, Shin-ichi Akiyama *and* Saburo Sone :** Investigation of complementary and alternative medicine in lung cancer patients in Tokushima Univerity Hospital., *第9回アジア臨床腫瘍学会学術集会,* Gifu, Aug. 2010.
26. **赤坂 和哉 :** 精神分析的な「子ども」におけるいじめの幻想的側面:隠蔽記憶としてのいじめ, *日本心理臨床学会(第29回秋季大会),* 2010年9月.
27. **二宮 恒夫, 井﨑 ゆみ子, 中津 忠則 :** 大学生のうつ病認知スケール結果を学校精神保健にどう活かすか, *第41回全国学校保健・学校医大会,* 2010年11月.
28. **前田 健一, 井﨑 ゆみ子 :** 徳島大学における新型インフルエンザの流行状況について, *第40回中国・四国大学保健管理研究集会報告書,* 110-112, 2010年12月.
29. **赤坂 和哉 :** 内容解釈で反応した女性患者, *精神分析臨床研究会(第18回),* 2010年12月.
30. **赤坂 和哉 :** ラカン派精神分析の治療論 理論と実践の交点, 誠信書房, 東京, 2011年6月.
31. **高橋 将記, 的場 秀樹, 佐竹 昌之, 前田 健一, 小原 繁 :** 中高年者における10㎞走での疲労感と酸化ストレス及び抗酸化能力の関係, *ランニング学研究,* **23,** *1,* 29-36, 2011年.
32. **赤坂 和哉 :** 心理臨床家にとっての解釈という行為:無意識の形成物の中で眠っているシニフィアン, *日本心理臨床学会(第30回秋季大会),* 2011年9月.
33. **井﨑 ゆみ子 :** 学校保健・福祉 大学生に見られたうつ病エピソードの検討, *日本児童青年精神医学会総会抄録集,* 344, 2011年11月.
34. **井﨑 ゆみ子, 前田 健一 :** 保健管理センターを受診した学生の単年度統計, --- メンタル不調との関連の分析 ---, *第41回中国・四国大学保健管理研究集会報告書,* 102-103, 岡山, 2011年11月.
35. **前田 健一, 井﨑 ゆみ子 :** ICカードを持たない職員に対して自動健診システムを導入する試み, *第41回中国・四国大学保健管理研究集会報告書,* 44-46, 岡山, 2011年11月.
36. **前田 健一, 早渕 純子, 佐藤 八重子, 西尾 よしみ, 横山 小百合, 井﨑 ゆみ子 :** 職員健診の効率化のための自動健診システムとWeb入力, *CAMPUS HEALTH,* **49,** *1,* 128-129, 2012年2月.
37. **藤原 朝洋, 赤坂 和哉, 押味 京子, 他 :** 休退学の実態について:2011全国研分科会からの報告①, *日本学生相談学会(第30回大会),* 2012年5月.
38. **押味 京子, 赤坂 和哉, 菅野 泰蔵, 他 :** 休退学に関する対策の現状:2011全国研分科会からの報告②, *日本学生相談学会(第30回大会),* 2012年5月.
39. **富永 ちはる, 赤坂 和哉, 押味 京子, 他 :** 休退学にかんする今後の対策と相談室の役割:2011全国研分科会からの報告③, *日本学生相談学会(第30回大会),* 2012年5月.
40. **井﨑 ゆみ子 :** 第9回日本うつ病学会総会シンポジウム2児童青年期と成人のうつ病, --- 世代による症候論の特徴 ---, *第9回日本うつ病学会プログラム抄録集,* 72, 2012年7月.
41. **赤坂 和哉 :** 沈黙が多い男子学生の一症例, *精神分析臨床研究会(第22回),* 2012年7月.
42. **西尾 よしみ, 早渕 純子, 横山 小百合, 西田 洋子, 佐藤 八重子, 井﨑 ゆみ子, 前田 健一 :** 特定保健指導における集団指導の試み∼ランチョンセミナーを実施して∼, *第42回中国四国大学保健管理研究集会報告書,* 香川, 2012年12月.
43. **赤坂 和哉, 福田 大輔 :** アラン・ヴァニエ (著) はじめてのラカン派精神分析:初心者と臨床家のために, 誠信書房, 東京, 2013年11月.
44. **藤原 朝洋 :** 末期癌患者の「人生の質」に関する社会学的考察 : ホスピスと代替医療の比較から, *生涯学習研究センター紀要,* **19,** 61-72, 2014年.
45. **井ノ崎 敦子, 赤坂 和哉 :** 学生相談室における臨床心理実習の意義:グループ活動における実習効果の検討, *日本学生相談学会(第31回大会),* 2013年5月.
46. **早渕 純子, 西尾 よしみ, 横山 小百合, 西田 洋子, 岡久 玲子, 武内 早苗, 井﨑 ゆみ子, 前田 健一 :** 特定保健指導対象職員の食行動について, --- 3年間の食行動質問票の集計を基に ---, *第43回中国四国大学保健管理研究集会報告書,* **43,** 59-63, 2013年10月.
47. **赤坂 和哉 :** 演技的な女子学生の一症例, *精神分析臨床研究会(第25回),* 2014年2月.
48. **武内 早苗, 早渕 純子, 山田 博胤, 西尾 よしみ, 横山 小百合, 西田 洋子, 井﨑 ゆみ子, 前田 健一, 大森 哲郎 :** 徳島大学職員への頸動脈エコー実施の試み, *第44回中国四国大学保健管理研究集会報告書,* 76-80, 島根, 2014年.
49. **河村 保彦, 高木 均, 前田 健一, 中野 晋, 多田 吉宏 :** 機械類の安全運転, 徳島大学工学部, 2015年3月.
50. **井ノ崎 敦子 :** 卒業期での性的虐待被害経験をもつ学生との面接過程‐現実適応を考慮した対人トラウマのワークスルーの意義‐, *日本学生相談学会第32回大会論文集,* 2014年5月.
51. **井ノ崎 敦子 :** DV被害女性のための心理教育グループの効果に関する研究(3)‐単発の心理教育グループの効果検討‐, *日本心理臨床学会第33回秋季大会論文集,* 2014年9月.
52. **井ノ崎 敦子 :** DV被害者対象の単発型心理教育グループの効果‐プロセス分析による検討‐, *日本心理学会第78回大会論文集,* 2014年9月.
53. **藤原 朝洋 :** 学生相談における動作法を用いた面接事例の検討 -吃音のある男子大学生の事例に基づく考察-, *2014年 日本リハビリテイション心理学会 学術大会,* 2014年12月.
54. **早渕 純子, 西尾 よしみ, 横山 小百合, 西田 洋子, 岡久 玲子, 武内 早苗, 井﨑 ゆみ子, 前田 健一, 大森 哲郎 :** 体重減少が血液検査結果に及ぼす影響について∼5年間の特定保健指導の結果を基に∼, *第44回中国四国保健管理研究集会報告書,* 71-75, 2014年10月.
55. **井ノ崎 敦子 :** 犯罪被害を受けた子どものための支援ガイド, 東京, 2016年2月.
56. **井ノ崎 敦子 :** アクティブラーニングで学ぶジェンダー, --- 現代を生きるための12の実践 ---, 保健管理・総合相談センター, 京都, 2016年3月.
57. **藤原 朝洋, 山本 真由美 :** 徳島大学大学開放実践センターにおけるグループ回想法の実践, *徳島大学大学開放実践センター紀要,* **25,** 65-71, 2016年.
58. **赤坂 和哉 :** 大学のハラスメント相談における対応の転換点:主人のディスクールからヒステリー者のディスクールへ, *日本学生相談学会第33回大会,* 2015年5月.
59. **久 桃子, 古賀 聡, 藤原 朝洋, 針塚 進 :** 臨床心理学的視点に基づく地域在住高齢者の健康支援活動の展開, *日本心理臨床学会 第34回大会,* 2015年9月.
60. **井ノ崎 敦子 :** デートDVの被害・加害・ダメージ(4), *日本心理学会第79回大会論文集,* 2015年9月.
61. **井ノ崎 敦子 :** アクティブに学ぶジェンダー, *日本心理学会第79回大会,* 2015年9月.
62. **井ノ崎 敦子, 井﨑 ゆみ子, 西田 洋子, 西尾 よしみ, 武内 早苗, 早渕 純子, 横山 小百合, 赤坂 和哉, 藤原 朝洋, 井上 陽子, 前田 健一, 山本 真由美, 大森 哲郎 :** 一般教員による障害学生支援の実態に関する調査研究, *CAMPUS HEALTH,* **53,** *1,* 414-416, 2016年3月.
63. **赤坂 和哉 :** ラカンと対象関係論の対話, *対象関係論勉強会(日本精神分析協会認定基礎セミナー),* 2015年12月.
64. **武内 早苗, 早渕 純子, 西尾 よしみ, 横山 小百合, 西田 洋子, 井﨑 ゆみ子, 前田 健一, 大森 哲郎 :** 随時尿でのNa, Cl測定による食塩摂取量と高血圧, --- 推定食塩摂取量を生活・食事指導に生かすために ---, *第45回中国四国大学保健管理研究集会報告書,* 58-60, 2015年11月.
65. **井﨑 ゆみ子, 武久 美奈子, 大森 哲郎 :** 大学におけるメンタルヘルス対策の検討 入学時のメンタルヘルス健診と在学中の精神科受療行動との関連から, *精神科治療学,* **32,** *5,* 697-704, 2017年.
66. **井ノ崎 敦子 :** 性的被虐待経験をもつ女子学生への卒業期における学生相談の要点について, --- 共感的応答による怒りの受容と主体性の高まり ---, *学生相談研究,* **38,** *2,* 146-156, 2017年.
67. **亀岡 智美, 瀧野 揚三, 野坂 祐子, 岩切 昌宏, 中村 有吾, 加藤 寛 :** トラウマインフォームドケア : その歴史的展望, *精神神經學雜誌,* **120,** *3,* 173-185, 2018年.
68. **松並 知子, 赤澤 淳子, 井ノ崎 敦子, 上野 淳子, 青野 篤子 :** 成人におけるデートDVの実態とダメージの認知・依存的恋愛観と暴力容認傾向との関連, *神戸女学院大学論集,* **64,** *2,* 31-46, 2017年.
69. **中村 有吾 :** 教育領域における発達障害のトラウマケアについての一考察, *大阪商業大学教職課程研究紀要 = Journal of the Teacher-Training Course at Osaka University of Commerce,* **1,** *1,* 37-47, 2018年.
70. **井ノ崎 敦子 :** 恋愛問題を抱える女子大学院生への面接過程, --- 学生相談における大学院学生期支援のあり方についての検討 ---, *日本学生相談学会第35回大会論文集,* 67, 2017年5月.
71. **井ノ崎 敦子, 赤澤 淳子, 上野 淳子, 松並 知子, 青野 篤子, 下村 淳子 :** デートDVを予防・防止する要因の検討(4), --- デートDV加害及び被害経験と親密性との関連 ---, *日本心理学会第81回大会,* 2017年9月.
72. **赤澤 淳子, 井ノ崎 敦子, 上野 淳子, 松並 知子, 青野 篤子, 下村 淳子 :** デートDVを予防・防止する要因の検討(1), --- 共感性・怒りの制御・葛藤解決方略とデートDV加害との関連 ---, *日本心理学会第81回大会,* 2017年9月.
73. **上野 淳子, 赤澤 淳子, 松並 知子, 井ノ崎 敦子, 青野 篤子, 下村 淳子 :** デートDVを予防・防止する要因の検討(2), --- 恋人による被支配感を考慮したデートDV被害に葛藤解決方略が与える影響 ---, *日本心理学会第81回大会,* 2017年9月.
74. **松並 知子, 赤澤 淳子, 井ノ崎 敦子, 上野 淳子, 青野 篤子, 下村 淳子 :** デートDVを予防・防止する要因の検討(3), --- 依存的恋愛観と暴力の関連 ---, *日本心理学会第81回大会,* 2017年9月.
75. **赤澤 淳子, 井ノ崎 敦子, 上野 淳子 :** 高等学校の養護教諭におけるデートDVに関する意識, --- 高等学校での取り組みと相談経験の差異から ---, *日本心理臨床学会第36回大会,* 2017年11月.
76. **井ノ崎 敦子 :** DV被害女性のための心理教育グループの効果に関する研究(3), --- 2セッション・バージョンにおける効果検討 ---, *日本心理臨床学会第36回大会,* 2017年11月.
77. **中村 有吾 :** 学校での問題行動とトラウマインフォームドケア, *大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター 第5回プロジェクトフォーラム,* 2018年2月.
78. **中村 有吾 :** 教育領域でのトラウマインフォームドケア, *第7回 大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター・シンポジウム,* 2018年3月.
79. **Administration Abuse and Mental Health Services Substance, (訳)亀岡 智美, 瀧野 揚三, 中村 有吾, 岩切 昌宏, 他 :** SAMHSA のトラウマ概念とトラウマインフォームドアプローチのための手引き, *大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター,* 2018年3月.
80. **Takeo Tominaga, Masahito Tomotake, Tomoya Takeda, Yoshinori Ueoka, Tsunehiko Tanaka, Shinya Watanabe, Naomi Kameoka, Masahito Nakataki, Shusuke Numata, Yumiko Izaki, Satsuki Sumitani, hiroko Kubo, Yasuhiro Kaneda *and* Tetsuro Ohmori :** Relationship between social and cognitive functions in people with schizophrenia, *Neuropsychiatric Disease and Treatment,* **14,** 2215-2224, 2018.
81. **Atsuko Inosaki, Makiko Kasai *and* Atsuko Aono :** Romantic Relationship and Sexuality Problems of Japanese Women Students, *Annual Review of Critical Psychology,* **15,** 181-199, 2018.
82. **井ノ崎 敦子, 葛西 真記子 :** 「自己のための恋愛」を繰り返す女子学生との面接過程‐自己対象欲求の成熟による凝集的自己の獲得‐, *教育実践学論集, 20,* 25-37, 2019年.
83. **井ノ崎 敦子 :** 樹木画によるDV被害者対象心理教育プログラムの効果検討, *日本描画テスト・描画療法学会第28回大会抄録集,* 51, 2018年.
84. **赤澤 淳子, 井ノ崎 敦子, 上野 淳子, 松並 知子, 下村 淳子, 青野 篤子 :** 高校生および大学生におけるデートDV予防・防止に向けて(1), *日本心理学会第82回大会論文集,* 2018年.
85. **上野 淳子, 赤澤 淳子, 松並 知子, 井ノ崎 敦子, 下村 淳子, 青野 篤子 :** 高校生および大学生におけるデートDV予防・防止に向けて(2), --- デートDV被害について ---, *日本心理学会第82回大会論文集,* **82,** 2AM-132, 2018年.
86. **井ノ崎 敦子, 赤澤 淳子, 上野 淳子, 松並 知子, 下村 淳子, 青野 篤子 :** 高校生および大学生におけるデートDV予防・防止に向けて(3), --- 青年期の恋愛関係における親密性と本来感の関連 ---, *日本心理学会第82回大会論文集,* 2018年.
87. **下村 淳子, 赤澤 淳子, 井ノ崎 敦子, 上野 淳子, 松並 知子, 青野 篤子 :** 高校生および大学生におけるデートDV予防・防止に向けて(4), *日本心理学会第82回大会論文集,* 2018年.
88. **井ノ崎 敦子, 葛西 真記子 :** 国内外における大学生の恋愛に関する心理学的研究の動向, *鳴門教育大学学校教育研究紀要,* **33,** 27-33, 2019年.
89. **井ノ崎 敦子, 葛西 真記子 :** 大学生の恋愛の発達と自己の発達との関連, *鳴門教育大学学校教育研究紀要,* **34,** 1-8, 2019年.
90. **上野 淳子, 松並 知子, 赤澤 淳子, 井ノ崎 敦子, 青野 篤子 :** 青年後期と成人前期におけるデートDV被害, --- 恋人による被支配感に与える影響 ---, *四天王寺大学紀要,* **67,** 33-43, 2019年.
91. **中村 有吾, 瀧野 揚三, 岩切 昌宏 :** 米国マサチューセッツ州におけるトラウマセンシティブスクールの実際, *学校危機とメンタルケア,* **11,** 1-14, 2019年.
92. **中村 有吾 :** 教育領域におけるトラウマインフォームドアプローチの職員研修を考える, *第17回日本トラウマティック・ストレス学会,* 2018年6月.
93. **上野 淳子, 赤澤 淳子, 松並 知子, 井ノ崎 敦子, 下村 淳子, 北山 裕子, 南畑 好美 :** アクティブラーニングを用いた暴力防止プログラムの効果, *日本教育心理学会総会発表論文集,* **61,** 202, 2019年.
94. **中村 有吾 :** 教育領域でのトラウマインフォームドケアーマサチューセッツ州の取り組みを参照してー, *第8回 大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター・シンポジウム,* 2019年3月.
95. **井上 麻由, 井﨑 ゆみ子, 武内 早苗, 西尾 よしみ, 早渕 純子, 横山 小百合, 前田 健一, 大森 哲郎 :** UPIを用いた予防的介入の指標, *第56回全国大学保健管理研究集会,* 2018年10月.